

1 活動のねらい

体力向上を目指した体育指導についての研修を深める。

2 活動内容

(1) 集団行動実技研修 (6月)「中学校と連携した集団行動の指導」

ア 講師 内山 富希男 教諭 (五泉市立愛宕中学校)

イ 研修の概要

集団行動のねらいとして、講師からは「日常生活での安全面」と「みんなで身体活動する喜びや楽しさ、達成感の共有」の2点から指導していただいた。緊急の事態に遭遇した時、集団としての行動を敏速かつ的確に行うことが自身の安全を守る上で重要である。そのために、集団行動が大切であるということを教わった。



また、集団行動の指導として、姿勢・方向転換・整頓・列の増減を、実際に動きながら学んだ。合図の出し方では、予令から動令を意識したメリハリある指示の出し方と、集団全体を視野の中に収めることができる立ち位置について、重要性を指導された。

(2) 器械運動実技研修 (9月)「跳び箱運動指導のポイント」

ア 講師 瀬賀 久行 様 (村松ジュニア体操クラブ)

イ 研修の概要

講師からは、低学年における「器械・器具を使った運動遊び」から中・高学年の「器械運動」までの、発達段階に合わせた跳び箱運動について教えていただいた。跳び箱運動は、一つの跳び方をとってもいくつかのポイントがあり、それを児童に意識させながらスモールステップで学ばせていくことが大切だと指導された。

また怪我につながりやすい運動であるということから、正しい着手については、どの学年においても児童に必ず指導することを、教えていただいた。

(3) 授業研究 (10月)

ア 日時・会場 平成 25 年 10 月 9 日 (水) 五泉市立橋田小学校

イ 研修内容

① 単元名 第 5 学年「跳び箱運動～Let's Jump Together!!」

② 授業者 五泉市立橋田小学校 山崎 翔泰 教諭

<協議>

授業では、どの児童も積極的に台上前転に取り組む姿が見られた。等質グループを編成しての学習活動の場の工夫や、学習カードの活用などが、児童の意欲を高めることに有効に働いたと考える。グループの中で児童が互いにかかわり、本時の中で台上前転ができるようになる姿が見られるなど、児童同士のかかわりが、良い方向にはたらいっていた。



3 成果と課題

本年度の体育部会では、小中連携や児童の実態という面からの「集団行動」と、指導に難しさのある領域という面からの「器械器具を使っての運動遊び・器械運動」について研修を深めた。どちらも、部員である私たちに、今、必要感を感じるものであり、非常に参考になる指導技術を教えていただくことができた。この研修を、児童の体力向上につなげられるよう、日々実践を重ねていく。

